

令和2年度第3回神奈川県公立高等学校協議会  
議 事 録

- 1 日 時 令和2年8月27日(木)  
10時00分～11時00分
- 2 場 所 波止場会館5階 多目的ホール
- 3 出席委員等 田沼 光明 高木 茂 大澤 一仁 竹内 博之  
柏木 照正 藤野 利夫 鍋山 英彦 濱野 雄功(代理)  
高橋 直樹 山中 毅 増田 年克 上條 茂  
井坂 秀一 鴨下 博厚

(敬称略)

## 座長（山中委員）

定刻より早いですが皆様揃いましたので、第3回神奈川県公立高等学校協議会を開催いたします。前回に引き続き、座長を務めさせていただきます神奈川県私学振興課長の山中でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本会議は原則公開とされております。取材・傍聴者等につきましては、既に入室されておりますのでご承知おきください。

なお、本日は川崎市の細見委員の代理として濱野担当課長にご出席いただいております。オブザーバーの神奈川県PTA協議会代表 足立原様が所用によりご欠席です。ご承知おきください。

協議に入ります前に団体から文書をいただいておりますのでご報告させていただきます。「かながわ教職員組合連合」及び「神奈川県高等学校教職員組合」から8月17日付けで申し入れが提出されておりますので、写しをお配りしております。

それでは、お手元に配付しております会議次第に基づきまして、協議を進めてまいりたいと思います。議題は前回に引き続き「令和3年度の『高等学校生徒入学定員計画』の策定について」でございます。前回の会議でもお話しさせていただきましたが、当協議会において、例年、この時期に入学定員について協議いただきまして、公私間での合意を得て9月に予定しております「神奈川県公立高等学校設置者会議」に、その協議結果を報告することが当協議会としての役割となっております。

具体的な協議に入る前に、まず、前回の会議における議論を整理させていただきたいと思っております。前回の会議では、令和2年度入学者選抜の実績や取組みの成果が報告されまして、それぞれの立場から色々なご意見が出されました。定員目標の設定方法について、昨年度は平成22年度から3年間続いた定員割振方式から、公私それぞれが自らの責任において実現を目指す定員目標を設定する方法に変更した8年目ということでございましたが、令和3年度の定員計画においても昨年度に続いて、「公私が自らの責任において実現を目指す定員目標を設定する」ことにより策定することで、公私の考えは一致していることを確認しました。

しかし、合意文書については時点修正のほか、新型コロナウイルス問題への対応について文言を追加できないかという提案もされたわけでございます。そして、公立私立それぞれの具体的な定員の目標数値については、一旦、令和2年度の入試結果を持ち帰って、それぞれご検討いただくこととしておりました。

この後、公私それぞれからご検討いただいた定員の目標数値についてご報告をいただきますけれども、合意文書の中で追加、修正を要する部分については事務局で修正し、今回の協議会に提出させていただくことにしておりました。

ついては、合意文書の座長案として、お手元の資料3にお示しいたしますので、内容について簡単ではございますが、事務局からご説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

## 事務局

それでは私学振興課から合意文書の案について説明させていただきます。お手元の資料3をご覧ください。合意文書の座長案です。下線部分が昨年度からの修正箇所となっております。

まず、タイトルの年度を令和3年度に改めました。また、括弧内の合意の日付は現在空欄としています。次の前文にあたる部分について、これまでの合意の日付を※印の注としてまとめて記載していますが、最後に昨年の合意の日付「令和元年9月4日」を付け加えました。2ページ目の中ほど2 定員計画の策定の(1)では、三箇所年度の修正をしています。1ページ飛ばしまして4ページ目の中ほど(5) その他の対策ですが前回の会議において、「新型コロナウイルス問題への対応について文言を追加できないか」というご提案がありましたので、特に令和3年度入学者選抜における対応として2項目文言を追加しました。

なお、「じゅけん」という言葉について漢字をふたとおり併記させていただいております。これは公立高校においては検査の「検」の字を使いますが、私立高校では試験の「験」の字を使うことがあるということで、「じゅけん」のところは漢字をふたとおり併記しております。そして、5ページ目ですがタイトルの年度を令和3年度とし、三つ目の黒ポツの公立の入学定員目標人数と、四つ目の黒ポツの私学の入学定員目標人数は空欄にしています。最後に「公立中学校卒業予定者」は、今回見込んでいる数字の65,108人に修正しました。以上が修正箇所です。

## 座長（山中委員）

ありがとうございました。今の説明に対してご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。まず、公立側からお願いします。

## 増田委員

高校教育課長の増田でございます。前回の公私協の中で今年度については、新型コロナウイルスの対応について、公立私立ともに受検者にお示しすることで、より安心して受検に臨んでいただけたらと思い、意見を述べさせていただいたところです。現状を見ますと引き続き感染の状況が収まらず、拡大状況等が生じており、やはりこういった文言が必要かなということを引き続き強く感じるところでございます。

そこで前回お願いした上に、また新たなお願いということで大変恐縮ですけれども実は今回の新型コロナ関係の対応は、まさに今年度新たに取り組むべきことということで、受検者の方にもあるいは県民の方にもしっかりとお示ししていくことが重要ではないかと考えております。今回、事務局の方の座長案で(5) その他の対策に2項目を入れていただいたところですが、このことが今年度に限って私どもがしっかりと協議をした上で、公立私立が合意の上でしっかりと取り組んでいくんだというメッセージを発信していく上では、その他の対策と並べるのではなく、今年度に限っては一番最初の「令和3年度の入学定

員計画の策定については」が書かれているところの後に、特に令和3年度の入学者選抜においてはということで、こちらの方に記載をしていただくとより強いメッセージとして広く皆様の方に伝わるのではないかと、文言についてはここに書いていただいた内容でよろしいかと思うのですが、前文に相応しいような形で一部修正が必要かもしれませんが、こちらの方に移していただけたら、より強いメッセージとして伝わるのではないかと、その点を意見として挙げさせていただきたいと思います。

#### 座長（山中委員）

ありがとうございます。今年度の新たな重要な取り組みで、メッセージ発信することを含み冒頭に置くという話がありましたが、それも含めて私学の方からもご意見を伺いたいと思います。

#### 田沼委員

私学といたしましても、安心して受けていただくというのが大前提ですので、文言につきましては良いと思っております。またこれを移すということにつきましても、私は良いのではないかなと思います。

#### 大澤委員

追加項目の1つ目を前書きに置くことは良いと思うのですが、2つ目が入学者選抜の日程を含めた見直し検討とありますが具体的なことが出てこない、私学の生徒数の確定に影響があることなのでこれはどうですかね。ある程度ねられておりますか。私学は対応を、例えば受験から合格発表をするようなところでかなり調整するのですが、公立の場合かなり長引いたりすると、日程をかなりくってくる可能性があるのではないかと思うのです。そういったところがまだ煮詰まってないかもしれませんが、検討の余地があるのではないかとということです。

#### 増田委員

ありがとうございます。公立私学と非常にタイトな中にスケジュールを入れさせていただいておりますので、日程の変更は現実には非常に困難だろうというふうには思っております。ただ、この後、本当に感染の状況が万が一、拡大していて通常の日程で受検者が受検をできないような事態になった時には、やはりそこは改めてご相談をさせていただきながらということになると思うのですが、ただ現実的には極めて難しい状況だと承知しております。現状本当にコロナウイルスの感染の状況が見えないという中で、私どもとしても精一杯努力できるというところでは協力体制を取りながらということになるかと思っております。

#### 座長（山中委員）

それでは文章の位置については、冒頭に置くということで合意文書の修正が必要になる

のですけれども、これにつきましては事務局で対応できますか。

## 事務局

後ほどお時間をいただきまして、修正案をお示しできるよう準備いたします。

## 座長（山中委員）

それでは後ほど、案については示していただきます。

次に定員の目標数値について、公私それぞれからご報告をいただきたいと思います。資料3の最後のところで目標数値が空欄になっていますけれども、それぞれ設定の考え方、実現に向けての留意事項や具体策等併せて説明いただければと思いますが、まず私学側からお願いします。

## 田沼委員

私学としましては、14,450という数字を提示したいと思います。私立学校の規模というのは一定しておりますので、なかなかこの数値を大幅に変えるというのは難しいと思うわけですが、今回は中3人口が減るということで、去年よりも100名ほど減らした数字ということで、これならば大丈夫だろうということでこの数字をお示ししたいと思います。

## 座長（山中委員）

ありがとうございます。14,450人でした。

次に公立側から同様をお願いします。

## 増田委員

よろしくお願いいたします。令和3年度の公立側の数字ということでございますが、今現在私どもが考えている数字といたしましては、39,550人というところを提示させていただけたらと思っております。

ここ数年公立学校の全日制の進学実績のところは、若干伸び悩んでいる状況がございます。昨年度で申しますと60.55%と少し厳しい数字ではあるのですが、コロナの影響がどういう形で現れてくるのかということが現状なかなか見えないところがございます。中学校も再開が遅れていることもあり、まだ面談の結果等が見えてこないところがございます。ただ、大幅に今年度の中学生の卒業生が減るわけですので、ある程度の減は飲み込まなければいけないところではございますが、昨年実績を下回る数字はなかなか厳しい。そこに0.2%乗せていただいて60.75という数字で考えた時に39,550人、前年度と比べて1,550人減。このあたりが正直限界なのではないかと思っておりますけれども、そのあたりで提示をさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

## 座長（山中委員）

ありがとうございます。それぞれ目標数値を出していただきました。それぞれ今の数値を踏まえて、公立私立のそれぞれ意見を確認したいと思います。私学側からお願いします。

### 田沼委員

公立の数値として、昨年度よりマイナス1,550ということで、中学3年生の生徒数が約2,000人減という状況を踏まえた上でも、ご協力いただけたのではないかと思います。これは、パーセンテージで考えるのではないのですけれど、私学の委員の皆様よろしいでしょうか。

### 竹内委員

全日制進学率の向上に努めるのは当然のことだとは思いますが、広域通信制の問題もあって、大幅にこの進学率を上げることは難しいのではないかと思います。今出していただいた数字、計算してみると最低でも昨年の進学率を下回っていないというのが出ていますので、引き続き協力していただけたらと思って評価したいと思います。よろしく願いいたします。

### 座長（山中委員）

よろしいでしょうか。では公立側、ご意見いただけますか。

### 増田委員

ありがとうございます。私学と公立とともに全日制進学率について一定の目標というところで定員協議をさせていただいているところございますので、その線を何とか守っていききたいという思いは、公立私立の思いは同じというふうに認識しているところでございます。

このところ、今竹内委員からもお話ございましたけれども、本当に中学生の進路が多様化しておりまして、なかなか全日制進学率だけというふうにもいかないということもあるかと思います。ただやはり、そうは言っても全日制を希望する子どもたちが、全日制に入れるようにそういった定員を我々がしっかり用意して、臨んでいきたいということでございますので、相互で責任を持って提示した数字というところで上手く折り合うことができるというところでございます。

### 座長（山中委員）

横浜、川崎、横須賀の市教委の方からご意見いただけたらと思いますけれども、いかがでしょうか。

### 鍋山委員

横浜市でございます。ここ数年、公私各々が自らの責任において定員目標を設定して、その実現を目指すという方式が取られてきており、一定の効果があつたと理解しております。横浜市としても、この方式を尊重し、この枠組みの中で努力していきたいと考えております。

## 濱野様

川崎市でございます。目標設定に関しましては、適正な数字だと思っております。また、募集人員に向けてになりますけれども、地区によって中学生の減り方が大変異なりますので、その辺は慎重に対応したいと思います。

## 高橋委員

横須賀市教育委員会でございます。目標設定に関しまして、このままで適正な数字であると考えます。よろしく願いいたします。

## 座長（山中委員）

ありがとうございます。その他ご意見ある方おりましたらどうぞ。よろしいでしょうか。今、少しお話の出ていた全日制進学率について計算すれば出ると思っていますので、先ほどでた情報の14,450人、39,550人、この数字で事務局で正式に算出できますか。

## 事務局

全日制進学率を計算した結果をご説明します。公立の定員目標を39,550人、私学の目標定員を14,450人としまして、県外等への進学者の見込みを過去3年の率の平均8.19%として計算しますと全日制進学率は91.1%になります。

## 座長（山中委員）

ありがとうございました。今の説明のとおり、県外の見込みを3か年平均で換算して8.19%で、それを基に算出しますと91.1%ということになります。ご確認していただければと思います。それでは、公私それぞれ数字を出していただきましたので、ここで、一旦休憩を取らせていただいてもよろしいでしょうか。それぞれに控室も用意してありますので、今の数字を含めて確認していただければと思います。10時35分くらい再開でよろしいでしょうか。では、休憩といたします。

---

休 憩

---

## 座長（山中委員）

それでは協議を再開させていただきます。まず、先に新型コロナウイルスに関する文章の位置の変更、併せて文章の内容を事務局から説明をお願いいたします。

## 事務局

先ほどの協議におきまして、新型コロナウイルスに関する文章を冒頭にもってくるということで合意されました。修正案といたしまして、冒頭のリード文の「引き続き公私協調の精神に基づき、以下のとおりとする。」の後に段落を設けまして、次の一文を加えることをご提案します。「なお、特に令和3年度入学者選抜にあたっては、中学校における学習状況を踏まえるとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じ、安心して受検（受験）に臨めるよう努め、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、入学者選

抜の日程を含めた見直しを検討する。」 座長案では2つの項目に分けておりましたが、これを1つの文に纏めました。修正案については以上です。

#### 座長（山中委員）

ありがとうございました。今の説明でいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

#### 座長（山中委員）

ありがとうございます。では今の説明のとおりとさせていただきます。

次に提案された定員目標の数ですが、これについて改めて先ほど確認をされたと思いますけれども、ご意見を伺いたいと思います。私学側からお願いします。

#### 田沼委員

先ほどお伺いをいたしましたけれども、そして、全日制進学率の計算も91.1%ということでございますので、進路の多様化等々を踏まえた上でも適切な目標ではないかと考えています。私学としては同意したいと思っております。

#### 座長（山中委員）

ありがとうございました。続いて、公立側からお願いいたします。

#### 増田委員

ありがとうございます。只今、田沼委員の方からもお話がございましたが、91.1%という全日制進学率、この数字を出すことができるということ、そしてまた今年2,007人という非常に大きな減少がございますが、私立側も経営上、なかなか厳しいところというお話の中、減という数字をご提示いただきました。私どもいたしましてもこの数字に同意をさせていただきます。

#### 座長（山中委員）

ありがとうございました。公立の定員目標は39,550人、それから私立の定員目標は14,450人ということになります。よろしいでしょうか。

これで定員計画の数字の欄が今、述べました数字が入ることになります。全体を含めてご意見、ご質問等あればこの場で伺いたいと思いますがいかがでしょうか。

全委員 なし。

#### 座長（山中委員）

それでは、本日のまとめに移らせていただきます。ただいま、公私の双方からいただいた定員目標数値、合意事項の基となった文章、案文で、これについてご了解をいただきま



した。案の文書を整理させていただいて、本日の公私協の段階としては整ったところがございます。正式には9月上旬に開催予定しています設置者会議、この場で決定。報告をさせていただいて、最終決定とさせていただきたいと思います。微調整等ございましたら恐縮ですけれども、一任させていただければと思っております。よろしいでしょうか。

**全委員** なし。

**座長（山中委員）**

ありがとうございます。

それでは、これをもちまして、協議会を終了させていただきます。本日は、誠にありがとうございました。